

2020年4月、新しい年度が始まりました。

今年度は、61名の看護職を含む93名が入職しました。

看護部では、例年おこなっている感染対策の講義に加え、新型コロナウイルスに関する感染対策の講義や演習をおこないました。正しい個人防護具の装着方法や擦式消毒剤の使用方法など新任職員であっても医療者として自覚を持ち、自らの健康管理や感染伝播をさせない行動が取れるよう研修を進めています。



医療崩壊が問題となりつつある昨今、医療者は臨機応変に状況に対応していくことが求められます。その際に看護の目的や本質を見失わないことが重要です。状況・場面に応じて変化にシなやかに即応でき、考えられる看護職に成長してもらえよう育成をおこなって参ります。

副院長兼看護部長 関口 靖枝